

平成26年度 三条市「生活科」活動報告

三条市立須頃小学校 竹内 行一

1 研究主題

主体的に活動し、気付きの質を深める子どもの育成
～授業力向上のための実技研修を通して～

2 研究主題設定の意図

学習指導要領解説「生活編」には、生活の改善の基本方針の第2として「気付きの質を高め、活動や体験を一層充実するための学習活動を重視する。また、科学的な見方・考え方の基礎を養う観点から、自然の不思議さやおもしろさを実感する活動を取り入れる。」と示されている。気付きの質を高めるためには、子どもたちの自発的・主体的な対象とのかかわりが必要である。そして、子どもたちにとって魅力ある授業とすることで、気付きの質をより高め、深めることができる。そのためには、質の高い教材研究が不可欠である。

そこで本年度は、一人一人の教材研究の助けとなるような実技研修を実施することとした。

3 事業の実際

○5月16日（金） 本年度の計画作成

○6月20日（金） 第1回研修会

「身近な材料を使ったおもちゃづくり」

講師 三条市理科センター 本間奈奈様

会場 大崎小学校

ペットボトルや紙コップなどの身近にある材料を使って、おもちゃ作りの実習を行った。豊富な材料を使って、工夫が加えられ、遊び方の工夫もできるおもちゃの作り方を、たくさん紹介してもらった。ペットボトルカッターなどの使いやすい道具の紹介もあり、すぐに授業に生かせる研修であった。



○9月25日（木） 第2回研修会

「秋の味覚サツマイモを使ったおやつ作り」「秋冬野菜の育て方」

講師 三条市農業交流体験センター サンファーム 指導員 明田川美智様

木村 六郎様

会場 三条市農業交流体験センター サンファーム

秋の味覚サツマイモを使った簡単なおやつ作りでは、ホットケーキミックスに切ったサツマイモを混ぜて炊飯器で焼いた。低学年でも材料や道具が少なく手軽にできる内容であった。

秋冬野菜の主にサツマイモについて話を聞いた。苗の選び方や植え付けの時期、植え付け後の肥料や水の与え方・時期など細かく教えていただいた。

4 まとめ

身近な材料や道具の活用方法や秋冬野菜の栽培のポイントなどが分かり、2回とも参加者の授業の質の向上にすぐに繋がる有意義な研修であった。